



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 61 号 2017/4/3 発行）

◆◆ <<http://www.iima.or.jp/>>



◇1. 理事長 渡辺博史 コラム◇

ヨーロッパの不安

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2017/20170403watanabe.pdf>>

3月にイギリス、フランス、ドイツと回ってきたが、いずこも先行きについての不安が増しこそすれ減少しているとはとても言えない状態になって…

◇2. 客員研究員 山上秀文 コラム◇

最近の大学における金融教育

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2017/20170403yamagami.pdf>>

今般、アジア開発銀行研究所長の吉野直行先生との共著テキスト『金融経済—実際と理論（第3版）』が、初版から4年を経て、慶應義塾大学出版会か…

■ホームページ 「IIMAの目」

短編コラム「IIMAの目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「2017年の中国金融改革への期待 —安定優先の経済運営の中で—」梅原直樹
2. 「アジアにおけるインフラ需要の拡大と留意点」中村明
3. 「中国のP2Pレンディングとサブプライムの教訓」佐久間浩司
4. 「米FRBの3月利上げとトランプ大統領」武田紀久子

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

◀掲載内容▶

○IIMA Global Market Volatility Index

（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）

## ○購買力平価グラフ

(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

### ■今月の新着レポート

#### 1. 「中国『一帯一路』構想の特徴と今後について」梅原直樹

[http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No\\_11\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No_11_j.pdf)

経済協力構想としての「一帯一路」構想は、「沿線国」と称されるユーラシア大陸の国々に多いに注目されているが、背後には列強アジア進出以前からの長期的歴史認識や地政学的利益が潜む。2017年5月には国際フォーラムが開かれ構想に新たなモメンタムが与えられようとしている。

#### 2. 「3年ぶりの回復に向かうブラジル経済」森川央

[http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2017/298\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2017/298_j.pdf)

2015年、2016年と2年連続の大幅なマイナス成長となったブラジルはようやく回復の兆しが出てきている。インフレの終息で利下げも始まった。しかし、内外の情勢は厳しい。政治も引き続き不透明感をもたらしており、回復力は微弱である。

#### 3. 「サウジアラビア経済の見通し」志波和幸

[http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No\\_10\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No_10_j.pdf)

サウジアラビア経済は依然として原油価格に左右される不安定な動向である。そのため、同国政府は「Vision2030」プロジェクトを発表し、2030年までに脱石油依存の経済構造の構築に邁進している。当該レポートでは、そのプロジェクトの進捗状況を報告するとともに、それを阻む可能性のあるリスクについて述べている。

#### 4. 「イラン経済の動向 ～経済制裁解除後を見据えて～」志波和幸

[http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No\\_9\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No_9_j.pdf)

イラン経済は核兵器開発疑惑に対する米国・EUの経済制裁強化で一時景気は悪化したものの、その後の核開発協定(JPCOA)の履行で米国が対話路線に転じたことを受け、リスクはあるものの経済回復が期待される。

#### 5. 「エジプト経済の動向」竹山淑乃

[http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2017/297\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2017/297_j.pdf)

アラブの春以降、混乱が続いているエジプトでは、外貨繰りが厳しい状況となっている。IMFの融資支援と同国の経済改革の状況を確認すると共に、目先の見通しを紹介する。

### ■今月のIIMA

29年度を迎え、IIMAも新しいメンバーを迎えて新体制でスタートを切り

ました。心機一転、今年度も IIMA をよろしく申し上げます。

先月のオランダの選挙を皮切りに今年度は、4月にフランス大統領選挙がはじまり、5月に韓国とイラン大統領選挙、9月にドイツ連邦議会選挙、秋には5年に1度、中国の最高指導部が大幅に入れ替わる中国共産党大会と世界各国で政治のイベントが続きます。昨年度はEU離脱を巡る英国国民投票や米国大統領選挙において予想に反した結果が現れ、選挙という政治イベントが金融市場に与える影響の大きさがクローズアップされました。

IIMAとしても従来以上にタイムリーに価値のある情報発信と様々な角度から分析した深みのある調査レポートの発表に努めて参ります。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

---

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/maimagazine.html>

【次号】

2017年5月1日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

[admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

---

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.